

考えられる選択肢

牛乳の量

	200ml	250ml
ビン	200ml ビン入り	250ml ビン入り
紙パック	200ml 紙パック入り	250ml 紙パック入り

* その他、「大きなビンから注ぎ分ける」方法も可能性としては考えられる

判断の要素

- **カルシウム摂取基準値**

→250mlが有利。200mlだとメニューに工夫が必要
(ただし、牛乳によるカルシウム摂取には異論も)

- **補助金(給食費)**

→250mlが有利。200mlだと給食費の値上げが必要に

- **ビンの存在**

→250mlのビンは現在流通していない

- **ごみ(ゼロ・ウェイスト)**

→リユースできる点でビンが有利。紙パックは現状からリサイクル対応検討の余地あり

各選択肢での必要な対応

- 250ml紙パック入り * 現状
→紙パックのリサイクルが要検討
- 250mlビン入り
→250mlビンの流通を求める社会的な活動が必要
- 200mlビン入り
→給食費値上げに対する社会的な合意や、給食メニューの工夫(と、それに伴う人員増への対応)が必要
- 200ml紙パック入り
...これを積極的に選ぶ理由はない

「250ml紙パック入り」と「200mlビン入り」 の比較

- カルシウム摂取基準値

→「250ml紙パック」が容易だが、「200mlビン」でも不可能ではない

- 補助金(給食費)

→「250ml紙パック」が有利

- ごみ(ゼロ・ウェイスト)

→「200mlビン」が有利

- 実現へのハードルと理想

→「250ml紙パック」でリサイクルを図ることが実現へのハードルは低そうだが、「200mlビン」がより理想に近いようにも思える